

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽 東刈谷 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワンフロアの敷地を活かしたサーキット運動や集団活動の実施。	レクリエーション内容の中で、サーキット運動やボールを使用した活動、事業所全体を利用した集団遊びを取り入れている。また、協力することや協力を求める力を養えるよう、異学年との交流の機会を多く設けている。	子どもたち一人一人の発達に合わせた、活動内容の実施や安全配慮を常に心がけていく。ご家族の安心に繋がるよう、参観日も今後実行していく。
2	利用児童の保護者様との日頃からこまめなやりとりを行っている。(保護者支援)	送迎時での報告内容や欠席が続いている児童に対して、様子を伺う連絡をしている。また、積極的な家庭訪問の実施している。  SNS投稿や毎月お子さまの写真をご家族にお送りし、事業所での様子が少しでも伝わるようにしている。	必要があれば自宅へ訪問し、悩みや困っていることがないか聞き取りを行う。  投稿頻度を増やし、保護者様にも活動内容や事業所での児童の様子がわかるようにしていく。
3	固定化していない支援内容を行うことで、生きる力を育てる。 ・自立課題 ・レクリエーション活動	活動内容や自立課題を固定化しないよう、ミーティングでの話し合いや、日々情報収集を欠かさないようにしている。	SNS等を使用し、情報収集を行ったり、他事業所との連携を図り、良いところや子どもたちの反応を聞き取り、取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアなため、静かな環境での個別対応が難しい。バリアフリー化に見えるがとところどころ段差が目立つ。	パーテーションや目隠しでの区切りはしているが、声は聞こえてしまう。	可能な限りバリアフリー化を行い、定期的な安全点検を行う中で、修理、改善に努める。 視覚的に段差があることがわかるよう目印をつけ、利用児童にも注意喚起を行う。
2	玄関から室内が見やすいため、視覚的に刺激されやすい。	賃貸物件利用のため、設備工事はできない。	可能な限り、パーテーションの使用や目隠しを使用することで、視覚的な刺激にならないように努める。
3	自立課題で使用するものと遊びで使用するものとの区別がわかりにくい。	使用用品が、分類別でまとまっていない。自立課題のものを遊びで使用してしまう。	事業所内の模様替えを行い、利用児童にとっても職員にとってもわかりやすい環境を整える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 北風と太陽 東刈谷 (児童発達支援)

公表日 2026年2月25日

利用児童数 2026年1月31日時点1名

回収数 1 (100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。				1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。				1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。		1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。		1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。		1				
	29	事業所の支援に満足していますか。		1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 北風と太陽 東刈谷 (児童発達支援)		公表日		2026年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		身体を使った遊びと学習の場所を分けたり、壁側に棚や机を置きスペースの確保をしている。また、小集団で遊ぶ等の配慮も行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		マンツーマン児童への配置も出来ており、お出かけやレク内容に合った人数配置がされている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		広々とした空間のため、環境設定は良いと感じる。車椅子等の利用もないため、現在通所中の児童に合う環境設備を行えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	マットの色の使い分け等をして、学習と遊びのスペースの区切りは上手くできている。	パーティションを上手く利用しきれしていないため、より活用していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	仕切りを作って個別スペースを作りながら、クールダウンは出来ている。	パーティションを上手く利用し、個別にクールダウンできるスペースを作っていきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	8		LINE等を活用し、当日の申し送りをミーティング後に送ることで、パートさんへの共有もできている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		頻繁に家庭訪問や保護者様と面談の機会を設けているのを目にする。また、自信が持てる部分や今後の課題となる部分を今後に活かせるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	日々のミーティングを行っている。	午後からのパートさんとのやりとり意識に違いがあるため、話し合いの場を持つことを提案し、今月から実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		外部評価について把握していないため、確認を行う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	ジョブメドレーの実施等で、機会を作ってもらっている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		会議時間で急入りに話し合い、実行できている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		モニタリング後にアセスメントを行うため、保護者様のニーズも共有してもらっている。また、日々のミーティングでもニーズを共有し、客観的に分析、課題等の支援設定を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		出勤していない職員や会議に参加できない職員さんも確認できるよう、LINE等を活用して共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		LINE等を活用し、計画書の共有を行っている。また、支援の内容も全体で考えて実行に移せている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	アセスメント会議にて活用。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		具体的な行動から、細かい支援設定をしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	利用者さんの状況により、臨機応変にプログラムの変更等を行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定化しないよう、配慮している。また、同じようなタイプの児童には同じような内容を行うことがあるが、変化を付けておこなっている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童に合わせて支援を考え、日によって集団で行う課題やプリント等の個別課題を行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	サポートが必要な児童をレクのレベルに合わせて話し合う等、上手く役割分担できている。	共有出来る日とそうでない日とあるため、LINE等を使って休みの日にも報告するようにする。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	翌日に行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		スモールステップから行うよう、心がけて支援している。また気づきや出来事を職員間で話し、改善点や児童の特性を踏まえた支援を考えている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		時期の把握をし、計画的に行っている。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		地域交流については、すぐ近くの就労支援Bの施設長さんが良く声を掛けてくださる。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		支援者が全て決めず、児童の意見や意思を尊重した支援を行えている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		その子のことをよく理解しているものと、そのような経験を積んでいって欲しい物がペアで行っている。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		不明確である。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		事前に情報共有をする。トラブルがあった場合は、すぐに起こったトラブルに対応する。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		特定の児童担当者会議等があったが、その他の児童にはない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4		対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		児童発達支援センターとの連携は、あまり密ではない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		送迎等はあるが交流は少ないため、地域ともより深く関わられるイベント等の実施を検討したい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		案内がきたものには、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			送迎の際、保護者様とその日の児童の様子等を伝えることで、保護者様の今のお悩みやご相談を話しやすいようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		機会を作ることが出来ていないため、今後検討していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		事前に聞き、その説明で合っているか確認を行っている。	説明の機会がない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			家族で来所頂き、デイサービスの雰囲気や行動の流れを感じてもらえるように対応している。また、家族の意見も積極的に頂くよう、声をかけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1		全体で話し合いの機会を設け計画し、直接保護者様へ説明の対応を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様の悩みや相談を聞き、職員内で共有し、改善対策を考えお伝えしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4		以前は集まる機会を設けていたが、最近では行うことが出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速に対応することで、相手により誠意が伝わるよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	活動写真として、月に一度、たくさん写真を送らせてもらっている。	SNSの更新が止まってしまっているため、早急に行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いはかなり慎重に行っている。また、個人情報の記載がある紙は必ずシュレッターにかけ、外部への漏洩も気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		児童から保護者様へ伝えるよう声を掛けると同時に、改めてこちらからも報告は行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		出来ていないため、今後取り組んでいきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		研修に参加したり、レクリエーション等に取り入れて、職員も児童も意識出来るようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		必要なものや対応について、担当をあえて決めない形で実践し、全員が対応できるような訓練を行っている。また、来月より不審者訓練も実施予定。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		てんかん発作が起きた際の対応等、保護者様確認をしている。いつもと少し違う症状が見られた場合には、動画と一緒に保護者様へ共有している。児童により発作の出方は違うため、発作の出方をより理解する必要性がある。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	食物アレルギーの児童が限りなく少ないが、気を付けて行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全管理を行って上で、支援を行えている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		把握出来ていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットの内容を報告書として必ず提出している。職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待研修等に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		誰から見ても虐待に当てはまらない対応を今後より強めると同時に、やむを得ない拘束は説明義務を果たした上で支援を今後も行う。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽 東刈谷 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワンフロアの敷地を活かしたサーキット運動や集団活動の実施。	レクリエーション内容の中で、サーキット運動やボールを使用した活動、事業所全体を利用した集団遊びを取り入れている。また、協力することや協力を求める力を養えるよう、異学年との交流の機会を多く設けている。	子どもたち一人一人の発達に合わせた、活動内容の実施や安全配慮を常に心がけていく。ご家族の安心に繋がるよう、参観日も今後実行していく。
2	利用児童の保護者様との日頃からこまめなやりとりを行っている。(保護者支援)	送迎時での報告内容や欠席が続いている児童に対して、様子を伺う連絡をしている。また、積極的な家庭訪問の実施している。  SNS投稿や毎月お子さまの写真をご家族にお送りし、事業所での様子が少しでも伝わるようにしている。	必要があれば自宅へ訪問し、悩みや困っていることがないか聞き取りを行う。  投稿頻度を増やし、保護者様にも活動内容や事業所での児童の様子がわかるようにしていく。
3	固定化していない支援内容を行うことで、生きる力を育てる。 ・自立課題 ・レクリエーション活動	活動内容や自立課題を固定化しないよう、ミーティングでの話し合いや、日々情報収集を欠かさないようにしている。	SNS等を使用し、情報収集を行ったり、他事業所との連携を図り、良いところや子どもたちの反応を聞き取り、取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアなため、静かな環境での個別対応が難しい。バリアフリー化に見えるがとところどころ段差が目立つ。	パーテーションや目隠しでの区切りはしているが、声は聞こえてしまう。	可能な限りバリアフリー化を行い、定期的な安全点検を行う中で、修理、改善に努める。 視覚的に段差があることがわかるよう目印をつけ、利用児童にも注意喚起を行う。
2	玄関から室内が見やすいため、視覚的に刺激されやすい。	賃貸物件利用のため、設備工事はできない。	可能な限り、パーテーションの使用や目隠しを使用することで、視覚的な刺激にならないように努める。
3	自立課題で使用するものと遊びで使用するものとの区別がわかりにくい。	使用用品が、分類別でまとまっていない。自立課題のものを遊びで使用してしまう。	事業所内の模様替えを行い、利用児童にとっても職員にとってもわかりやすい環境を整える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 北風と太陽 東刈谷 (放課後等デイサービス)

公表日 2026年2月25日

利用児童数 2026年1月31日時点27名

回収数 27 (100%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	2026年 2月 20日	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1		2		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	3	12		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1		4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2	2	8	キャンプの参加をいつも楽しみにしています。  特に強くは求めています。	参加の有無を選択できる形で、家族参加での行事を今後も継続して行っていく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1			平日利用の時は、いつも笑顔で帰ってきます。	今後も児童に合う支援方法を考え、実践していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				子どものことをよく見てくれて、とても満足しています！	保護者様がより安心できるよう、参観日等を検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽 東刈谷（放課後等デイサービス）			公表日	2026年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		身体を使った遊びと学習の場所を分けたり、壁側に棚や机を置きスペースの確保をしている。また、小集団で遊ぶ等の配慮も行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		マンツーマン児童への配置も出来ており、お出かけやレク内容に合った人数配置がされている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		広々とした空間のため、環境設定は良いと感じる。車椅子等の利用もないため、現在通所中の児童に合う環境設備を行えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	マットの色の使い分け等をして、学習と遊びのスペースの区切りは上手くできている。	パーティーションを上手く利用しきれしていないため、より活用していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	仕切りを作って個別スペースを作りながら、クールダウンは出来ている。	パーティーションを上手く利用し、個別にクールダウンできるスペースを作っていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		子どもたち一人一人の発達に合わせた、活動内容の実施や安全配慮を常に心がけていく。ご家族の安心に繋がるよう、参観日も今後実行していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		頻繁に家庭訪問や保護者様と面談の機会を設けているのを目にする。また、自信が持てる部分や今後の課題となる部分を今後に活かせるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	日々のミーティングを行っている。	午後からのパートさんとのやりとり意識に違いがあるため、話し合いの場を持つことを提案し、今月から実施している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			外部評価について把握していないため、確認を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	ジョブメドレーの実施等で、機会を作ってもらっている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		会議時間で念入りに話し合い、実行できている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		モニタリング後にアセスメントを行うため、保護者様のニーズも共有してもらっている。また、日々のミーティングでもニーズを共有し、客観的に分析、課題等の支援設定を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		出勤していない職員や会議に参加できない職員さんも確認できるよう、LINE等を活用して共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		LINE等を活用し、計画書の共有を行っている。また、支援の内容も全体で考えて実行に移せている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	アセスメント会議にて活用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		具体的な行動から、細かい支援設定をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	利用者さんの状況により、臨機応変にプログラムの変更等を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定化しないよう、配慮している。また、同じようなタイプの児童には同じような内容を行うことがあるが、変化を付けておこなっている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童に合わせて支援を考え、日によって集団で行う課題やプリント等の個別課題を行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	サポートが必要な児童をレクのレベルに合わせて話し合う等、上手く役割分担できている。	共有出来る日とそうでない日とあるため、LINE等を使って休みの日にも報告するようにする。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	翌日に行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		スモールステップから行うよう、心がけて支援している。また気づきや出来事を職員間で話し、改善点や児童の特性を踏まえた支援を考えている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		時期の把握をし、計画的に行っている。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		地域交流については、すぐ近くの就労支援Bの施設長さんが良く声を掛けてくださる。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		支援者が全て決めず、児童の意見や意思を尊重した支援を行えている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		その子のことをよく理解しているものと、そのような経験を積んでいって欲しい物がペアで行っている。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		不明確である。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		事前に情報共有をする。トラブルがあった場合は、すぐに起こったトラブルに対応する。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		特定の児童担当者会議等があったが、その他の児童にはない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4		対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		児童発達支援センターとの連携は、あまり密ではない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		送迎等はあるが交流は少ないため、地域ともより深く関わられるイベント等の実施を検討したい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		案内がきたものには、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			送迎の際、保護者様とその日の児童の様子等を伝えることで、保護者様の今のお悩みやご相談を話しやすいようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		機会を作ることが出来ていないため、今後検討していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		事前に聞き、その説明で合っているか確認を行っている。	説明の機会がない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			家族で来所頂き、デイサービスの雰囲気や行動の流れを感じてもらえるように対応している。また、家族の意見も積極的に頂くよう、声をかけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1		全体で話し合いの機会を設け計画し、直接保護者様へ説明の対応を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様の悩みや相談を聞き、職員内で共有し、改善対策を考えお伝えしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4		以前は集まる機会を設けていたが、最近では行うことが出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速に対応することで、相手により誠意が伝わるよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	活動写真として、月に一度、たくさん写真を送らせてもらっている。	SNSの更新が止まってしまっているため、早急に行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いはかなり慎重に行っている。また、個人情報の記載がある紙は必ずシュレッターにかけ、外部への漏洩も気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		児童から保護者様へ伝えるよう声を掛けると同時に、改めてこちらからも報告は行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		出来ていないため、今後取り組んでいきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		研修に参加したり、レクリエーション等に取り入れて、職員も児童も意識出来るようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		必要なものや対応について、担当をあえて決めない形で実践し、全員が対応できるような訓練を行っている。また、来月より不審者訓練も実施予定。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		てんかん発作が起きた際の対応等、保護者様確認をしている。いつもと少し違う症状が見られた場合には、動画と一緒に保護者様へ共有している。児童により発作の出方は違うため、発作の出方をより理解する必要性がある。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	食物アレルギーの児童が限りなく少ないが、気を付けて行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全管理を行って上で、支援を行えている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		把握出来ていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットの内容を報告書として必ず提出している。職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待研修等に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		誰から見ても虐待に当てはまらない対応を今後より強めると同時に、やむを得ない拘束は説明義務を果たした上で支援を今後も行う。		